

Company overview

2021.03.30

無茶苦茶
Respect and Go beyond

Respect and Go Beyond.

株式会社無茶苦茶は、「茶の湯」にまつわるアーティストが所属するアーティストマネジメント会社です。日本の総合芸術とも言える「茶の湯」をテクノロジーやストリートカルチャーを通じて現代的に翻訳し、新たな茶の湯のカタチを探求中。茶会プロデュース、ライブパフォーマンス、商品・店舗開発、空間演出、インスタレーション、アート作品制作などの「茶の湯」をテーマとした活動を行います。

Mucha-Kucha inc. is an artist management company to which artists related to tea ceremony belong. With tea ceremony as our theme, we work on tea ceremony planning, live performance, product and store development, space design, installation art creation, etc.

無茶苦茶 (Mucha-kucha)

Artist

茶会プロデュース
Tea Ceremony Produce

パフォーマンス
Live Performance

空間演出
Space Design

アート作品
Art / Installation

アートディレクション
Art Direction

商品開発
Product Development

and more...

「茶の湯」という文脈を解釈し、オーダーメイドの演出を行う茶会や新規事業・商品・店舗開発。空間演出やアート作品の制作など、アーティストの個性やスタイル、クライアント様の相談事項に沿った提案をいたします。

Mucha-Kucha inc. is an artist management company to which artists related to tea ceremony belong. With tea ceremony as our theme, we work on tea ceremony planning, live performance, product and store development, space design, installation art creation, etc.

Member

茶人・松村宗亮
Tea Master | Souryo Matsumura



建築家・佐野文彦
Architect | Fumihiko Sano



表具師・井上雅博
Fusuma mounter | Masahiro Inoue



陶芸家・横山玄太郎
Ceramic Artist | Gentaro Yokoyama



The TEA-ROOM an art collective exploring tea ceremony as it could be.

書道家・万美
Calligrapher | Mami



華道家・萩原亮大
Ikebana Artist | Ryota Hagiwara



和菓子作家・坂本紫穂
Wagashi Artist | Shiho Sakamoto



コンセプトデザイナー/社会彫刻家・青木竜太
Concept designer / Social sculptor | Ryuta Aoki



The TEA-ROOM



Pink Sensation

@ サンリオピューロランド
光る抹茶や和菓子、茶器など光の「先端技術」と「伝統」を掛け合わせた茶会。



TAICOCULB

野外音楽フェス TAICOCULB で海外アーティストたちをもてなすため、茶室を制作し茶会イベントを開催。



SONY Life Space UX

@ 銀座ソニービル
市中の山居をテーマとした空間を制作、茶会イベントを開催。



ねぶた礼賛茶会

@ 目黒 雅叙園
迫力あるねぶたとそのあかりを反射する床光と共鳴するような茶道具を中心に使い一服差し上げた。



デコトラ茶会

新和文化雑誌『ぶ』の特集企画「松村宗亮のかぶく茶の湯」にて開催。デコトラで救援物資を届けるボランティア活動などを行う一般社団法人全国哥麿会に協力を仰ぎ実現。



天空茶会

水や火といった自然なしでは茶の湯は成立しないことからインスピレーションを受け正客を大自然に見立て山、空、雲、岩々に対して一服の茶を点てた。



茶人・松村宗亮



The TEA-ROOM



五穀豊穡 船上茶会

@ T-LOTUS M

五穀豊穡をテーマに、「器・書・華・菓子・茶」に「音・食・酒・踊」を加えた三部構成プログラムを展開。



ONENESS

安藤忠雄氏によって手がけられたホテル「瀬戸内リトリート青凧」で開催された初茶会。コロナ禍の状況の中、茶会が究極の三蜜であることを逆手にとり、新しい時代に寄り添う茶の世界を表現。



ANA Live Performance

@Paris

松竹大歌舞伎 ANAのレセプションパーティーにてパフォーマンスを披露



書家・万美

LUX TV CM

“I choose how I shine (私の輝きは私が選ぶ)”をテーマに女性達が持つ無限の可能性を表現するアーティストとしてパフォーマンスを披露。



和 Meets JAZZ Live いけばな

@増上寺

「JAZZ×いけばな」ミュージシャンたちと即興のライブパフォーマンスを披露



献花奉納

@徳島県 城満寺

九州最古の禅寺「城満寺」にて献花奉納パフォーマンスを披露。同寺にて石庭のプロデュースも行う



華道家・萩原 亮大

Works

建築家・佐野文彦



ビズリーチオフィスデザイン

様々な素材に触れ、香りを感じ、時間が経つとともに変化していく事に気付く。“庭”にいるようなオフィス进行設計

書道家・万美



FUJITSU SOLUTION SQUARE

富士通オフィス2階～6階（計5フロア 約100m）の壁面を、半年間に渡り制作。

茶人・松村宗亮



文彩庵

横浜関内裏千家茶道教室SHUHALLY内茶室「文彩庵」（裏千家十六代坐忘齋御家元・命名）。2010年グッドデザイン賞受賞

華道家・萩原亮大



Autum Monument

時計ブランド「Hamilton」グローバル旗艦店1号店となる原宿キャットストリート店にてモニュメントを制作。

表具師・井上雅博

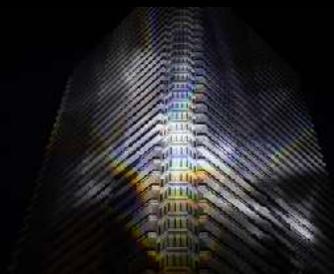


鈴鹿哲生展 屏風制作

日本の伝統技法と最先端の画像処理技術を融合させた作品を制作しているアーティスト 鈴鹿 哲生氏の六曲二双の屏風作品「ryugu」の屏風制作を担当

人工の月

独自の光を作り出すために独自の照明システムを専用に構築し、150mの建築物と仮想空間を使用。偶然性と実在性がテーマ。



The TEA-ROOM

The TEA-ROOM

VOID SYSTEM

従来の素材で物理的な茶室を作るのではなく、茶室が生み出す現象を最先端のALIFE (Artificial Life) テクノロジーで再現する現代的な茶室。



SOTOROJI #0

世俗の象徴を「お金」ととらえ、キャッシュレス化が進む現代において「お金」を代替する存在ともいえるQRコードを生成する独自のプログラムを開発し、外露地を表現。



建築家・佐野文彦



磐座

無人島・猿島で行われた、暗闇を感じる夜間限定のアートプロジェクト「Sense Island -感覚の島- 暗闇の美術島」での作品。猿島の土や砂と蓄光素材を合わせたもので出来ており、日中紫外線を溜め込み夜に光が見える。ぼわっとした柔らかな発光によって生命感や神の宿りを感じさせる。



Tea things & Ceramic works

POPな要素を取り入れたオーダーメイドの茶道具のや陶芸の数々。既存概念に囚われない、ユニークな作品を生み出す。



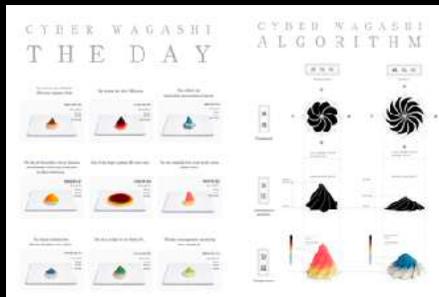
陶芸家・横山玄太郎



和菓子作家・坂本紫穂

OPEN MEALS 「サイバー和菓子」

フードテック・プロジェクト OPEN MEALSに参画。 気象データをもとに成形した、実食できる「サイバー和菓子」を制作



宗家 源 吉兆庵

岡山に本社を置く創作和菓子の「宗家 源 吉兆庵」とのコラボレーション和菓子

表具師・井上雅博

Panasonic × Art × 京表具井上光雅堂

和紙の皺張りを施した壁面、空中に浮かした和紙貼りの立体物、ARTの3層からなるファサード。PanasonicのLED技術により陰影を和紙に投射し、昼と夜とで違う顔を持つファサードを演出。



茶人・松村宗亮



Dolala

茶人・松村宗亮が店舗企画監修、メニュー設計、素材選定など総合プロデュースを行う有機生どら焼き。

書道家・万美



SABON 「トーキョー セレブレーション」

「日本の四季が持つ生命力を風に乗せて届ける」というコンセプトに合わせて、空気感や勢い、うねりを表現。

Ex : Tea-Ceremony

「茶の湯」はただ茶を飲むだけでなく、日常から離れ、世俗のしがらみを捨て精神の自由を遊びきる、という形而上的な意味合いをもつ営み。その目的のためにも客が茶室に行くまでには家屋や庭（露地）などの構造や儀式を通じて、日常から非日常に至るまでの情緒的な旅を体験することができる。

①露地口

俗世を断ち切り、心の塵を払い、自らを露地にす
る場所としての露地へ踏み出す入り口。

②腰掛待合

これから茶室に向かう客の心を整え、準備する場。

③外露地

中門で露地は仕切られており、その外側の露地。樹木な
どの構成により客に世俗から離れていくことを体感させ
る。

④中門

露地の領域を分けている。亭主と客が茶会当日初めて
無言で挨拶を交わす場であり、世俗と幽玄の世界との
結界の一つでもある。

⑤内露地

より茶室に近い露地。蹲（つくばい）や灯籠などが設
置してある。歩を進めるごとに空間の静謐さは増してい
く。

⑥蹲（つくばい）

手水鉢に水が張っており、手や口などを蹲いながら清
めると同時に心も清める。

⑦塵穴（ちりあな）

茶室の近くに設置されている内露地などの葉っぱなど
塵を入れる穴の意味が転用され 客は茶室に入る前に
心の塵もこの穴に入れていく。

⑧躡口（にじりくち）

小間茶室の入り口。屈まなくは入れない入り口の為、
どのような人であれ謙虚な気持ちをつちかう。

⑨茶の湯

茶室の基本の大きさは4畳半。以上が広間 以下が小
間と定義される。世俗とは完全に離れた場である為、
身分の上下といった日常のルールは持ち込まないこと
が理想とされている。

⑩床の間

茶室にとってその日の茶会のテーマともなる掛け軸や花な
どが飾られる場所。亭主が客と共有したい想いがここに込
められる。



精神を守り、概念を破り、伝統を進化させる

preserve the essence,
Go Beyond the stereotypes, and
advance the tradition.

会社名：株式会社無茶苦茶（Mucha-Kucha Inc.）

住所：〒150-0001東京都渋谷区神宮前6-23-4桑野ビル2F

代表取締役社長：宇野 景太

WEB：<https://mucha-kucha.co.jp/>

Instagram：<https://www.instagram.com/mucha.kucha/>

Mail：contact@mucha-kucha.co.jp